

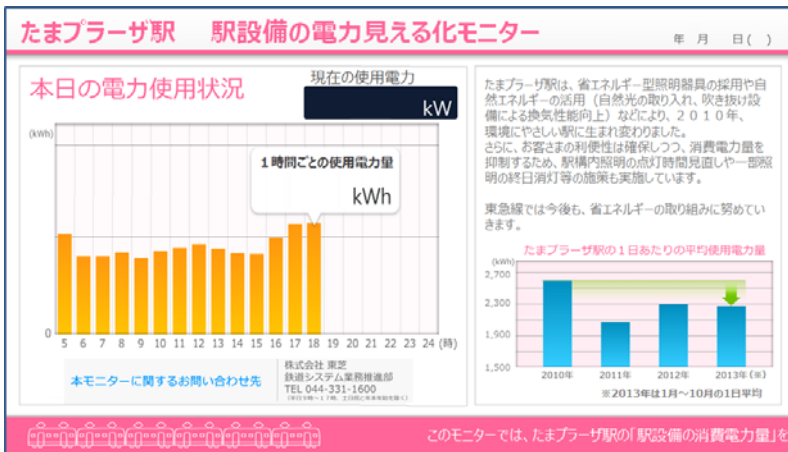
(別紙) たまプラーザ駅における「駅設備の電力見える化」の概要

1. 目的

- (1) スマートコミュニティの構築に向け、地域の象徴となる駅において省エネに取り組むことにより、地域全体での省エネを目指します。
- (2) 駅設備の消費電力量の詳細なデータを収集・蓄積することにより、そこで得られた測定結果や知見・ノウハウを、今後の駅エネルギーマネジメントシステムの検討に活かします。

2. 実施内容

たまプラーザ駅において、駅設備の消費電力量を測定します。当日の消費電力量や平成22年の駅リニューアル時の消費電力量などを、コンコースに設置したモニターで表示し、「駅設備の電力見える化」を行います。



モニター表示画面 (イメージ)



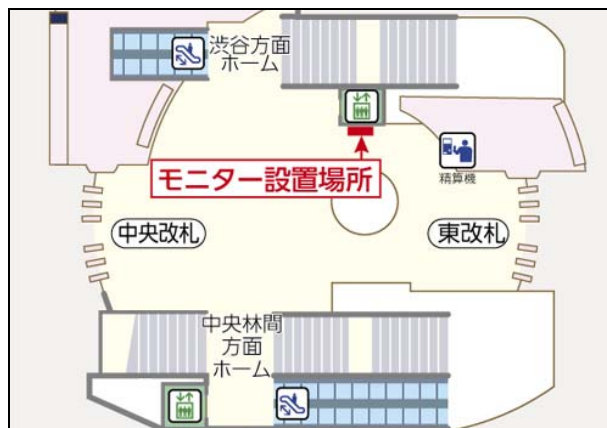
設置するモニター (イメージ)

3. 実施期間 (予定)

平成25年12月1日(日)～平成26年2月28日(金)

4. 実施場所

東急田園都市線 たまプラーザ駅 (参考：平成24年度 1日平均乗降人員75,967人)



モニター設置場所 (精算機脇)

5. 主催・協力

【主催】東京急行電鉄株式会社、株式会社東芝

【協力】横浜市

6. お客様のお問い合わせ先

株式会社東芝 鉄道システム業務推進部 阪上/渡部

電話：044-331-1600

http://www.toshiba.co.jp/sis/railwaysystem/jp/index_j.htm

(参考)

(1) 「次世代郊外まちづくり」の概要

次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会のさまざまな課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法で進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取り組みである「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置付けています。

(2) 「スマートコミュニティ推進部会」の概要

「次世代郊外まちづくり」の主要な取り組みとして、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的に、横浜市と東急電鉄が東芝ほか7社の民間企業などと共同で平成24年12月に設置した部会です。

(3) 「家庭の省エネプロジェクト」の概要

スマートコミュニティ推進部会が実施している取り組み。10月9日(水)から12月31日(火)までの間に参加申込みを行い、11月から平成26年1月にかけて、各ご家庭での省エネ活動に取り組んでいただくと、省エネの達成状況に応じて、たまプラーザの商業施設や商店街で使える地域通貨「次世代郊外まちづくりポイント(単位:プーラ)」をプレゼントします。

以 上